

# 倉敷市武道場条例施行規則

平成 20 年 3 月 26 日

規則第 28 号

改正 平成 26 年 3 月 26 日規則第 23 号

平成 31 年 3 月 22 日規則第 24 号

## （趣旨）

第 1 条 この規則は、倉敷市武道場条例（昭和 46 年倉敷市条例第 35 号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

## （使用許可）

第 2 条 条例第 9 条第 1 項前段の規定により武道場の使用の許可を受けようとする者は、所定の使用許可申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、条例第 9 条第 1 項前段の規定により武道場の使用を許可したときは、所定の使用許可書を交付するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、個人で練習のため使用する場合は、所定の利用者証を発行して使用させることができる。

## （使用許可の変更）

第 3 条 条例第 9 条第 1 項後段の規定により変更の許可を受けようとする者は、所定の変更申請書に使用許可書を添えて、市長に提出しなければならない。

2 市長は、条例第 9 条第 1 項後段の規定により変更の許可をしたときは、所定の変更許可書を交付するものとする。

## （使用時間）

第 4 条 武道場の使用時間は、準備又は原状に復するために要する時間も含めるものとする。

2 市長は、武道場の使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が武道場を使用する場合において、使用開始後の使用許可時間の延長を認めないものとする。ただし、市長が他の使用に支障がないと認めるときは、この限りでない。

## （冷暖房の使用料の額）

第 5 条 条例別表に規定する規則で定める冷暖房の使用料の額は、別表のとおりとする。

## （使用料の減免）

第 6 条 条例第 12 条ただし書の規定により使用料の減免を受けようとする者は、使用許可申

請の際、所定の減免申請書を市長に提出しなければならない。

2 市長は、使用料を減免したときは、所定の減免決定通知書により通知するものとする。

（使用料の返還）

第7条 条例第13条ただし書の規定による使用料の返還は、次の各号のいずれかに該当する  
ときとする。

（1） 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となったとき。

（2） 前号に掲げるもののほか、市長が相当の理由があると認めるとき。

2 前項第1号に該当するときは使用料の全額を、同項第2号に該当するときは市長が相当と  
認める額を返還するものとする。

3 前2項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、所定の還付申請書を市長に提出  
しなければならない。

（指定管理者に管理を行わせる場合における規定の適用）

第8条 条例第4条の規定により市長が指定するもの（以下この条において「指定管理者」と  
いう。）に武道場の管理を行わせる場合における第2条、第3条及び第4条第2項の規定の  
適用については、これらの規定中「市長」とあるのは、「指定管理者」とする。

（その他）

第9条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月26日規則第23号）

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成31年3月22日規則第24号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成31年10月1日から施行する。

（その他の使用料等に係る経過措置）

4 この規則（第4条、第5条及び第10条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規  
定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、  
施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表（第5条関係）

名称	種別	金額
倉敷市立水島武道館	談話室	1 台 1 時間までごとに 5 5 円
倉敷市立児島武道館	指導者室	1 台 1 時間までごとに 5 5 円
倉敷市立玉島武道館	トレーニング室	1 時間までごとに 1 1 0 円
	談話室	1 台 1 時間までごとに 5 5 円
倉敷市立船穂武道館	トレーニング室	1 時間までごとに 7 7 0 円
	談話室	1 台 1 時間までごとに 5 5 円
	指導者室	1 台 1 時間までごとに 5 5 円

備考 金額には消費税及び地方消費税を含む。